

とくてん

じゅけんばんごう	なまえ

すいさんかこうしょくひんせいぞうぎょう
ぎのうひょうかしけん

かねつせいすいさんかこうしょくひん
せいぞうぎょう

ふしるいせいぞう

せんもんきゅう

がっかしけん

【きょうつう もんだい】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
✓(ちえっく)をかきなさい。

1. すいさんかこうじょうでは、げんりょうからせいひんまで
えいせいかんりをおこなうことがたいせつである。

○	×
✓	

2. すいさんかこうじょうでは、かんたんなさぎょうのときは、
さぎょういをきなくてもよい。

○	×
	✓

3. げんりょうぎょかいそうるいのしよりは、ていおんと
たんじかんでえいせいてきにおこなう。

○	×
✓	

4. いわしは、あかみのさかなである。

○	×
✓	

5. かいそうは、かこうげんりょうにならない。

○	×
	✓

6. あかみのさかなは、しろみのさかなにくらべて、きんにく
ぜんたいにしめるちあいにくのわりあいがかすくない。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

7. ぶたにくにすくなく、ぎょにくにおおいえいようせいぶんがある。

○	×
✓	

8. さかなのしゅるいによってせんどがわるくなるはやさがちがう。

○	×
✓	

9. せんどていかしたさかなをこおりにつければせんどがよくなる。

○	×
	✓

10. さかなのにくはすいぶんがおおくやわらかいのでくさりにくい。

○	×
	✓

11. じこしょうかこうそは、きんにくやないぞうにふくまれている。

○	×
✓	

12. みじかいじかんですばやくとうけつすることを、きゅうそくとうけつという。

○	×
✓	

13. さかなをとうけつしてからほかんすることをちるとちよぞうという。

○	×
	✓

【きょうつう もんだい】

14. ぎょかいそうるいは、ていおんちょぞうやだっすい、
かねつしよりをするとほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

15. しょくひんにしおをいれるとすいぶんかっせいがたかくなり、
ほぞんせいがわるくなる。

○	×
	✓

16. すいさんかこうしょくひんのひんしつがわるくなるげんいん
には、おんどやさんそなどのかんきょうとしょくひんの
すいぶんかっせいなどがある。

○	×
✓	

17. すいさんかこうしょくひんに、みそやししょうゆをつかった
せいひんはない。

○	×
	✓

18. ぎょにくはかんそうすると、すいぶんかっせいがていかして、
ほぞんせいがよくなる。

○	×
✓	

19. さかなのあたまをきりとり、ひらきにするきかいを、
ぎょたいしよりきという。

○	×
✓	

20. すいさんかこうしょくひんは、ほうそうきをつかうことが
できない。

○	×
	✓

【ふしるい せいぞう】

つぎのぶんしょうについて、ないようがただしいとおもうものには○のらん
に✓(ちえっく)を、まちがいとおもうものには×のらん
に✓(ちえっく)をかきなさい。

1. あぶらがおいかつおぶしは、あぶらぶしという。

○	×
✓	

2. かつおぶしはかつおをなまのまま、ばいかんして、
せいぞうする。

○	×
	✓

3. かびつけしたかつおぶしはだしのかおりやあじがよい。

○	×
✓	

4. かつおのしゃじゅくじかんはながいほどよいかつおぶしが
できる。

○	×
	✓

5. あんじょうさぎょうは、ふしのなかのすいぶんをひょうめん
までかくさんさせるこうていである。

○	×
✓	

6. かびつけのかびは、しぜんはっせいしたものだけが
つかわれる。

○	×
	✓

【ふしるい せいぞう】

7. かつおぶしのせいぞうこうていでほねぬきさぎょうは
しゃじゅくまえにおこなう。

○	×
	✓

8. ほねぬきしたふしを、ばいかんすることを、いちばんびと
いう。

○	×
✓	

9. ばいかんにつかうきは、まつ、ひのきがよい。

○	×
	✓

10. よいかれぶしは、おもみがあり、たたきあわすときんぞくせい
のおとがする。

○	×
✓	